

デジタル人材育成研修一覧(別紙)

◎:必修

●:選択

研修名	時間	研修概要	実施時期	実施方法	一般職員	主査・係長	管理職
【J-LIS】 自治体DX入門セミナー	3時間	一般職員が知っておくべきDXの基礎について学び、理解を深めるものです。自治体DX全体手順書(総務省)における「DXの認識共有・機運醸成(ステップ0)」～「推進体制の整備(ステップ2)」に対応した内容です。	7月～3月	動画研修	◎	◎	◎
【J-LIS】 ICT基礎セミナー	2時間	ICTリテラシーを組織全体で向上させるため、地方公共団体の一般職員が知っておくべきICTの基礎について学び、理解を深めるものです。	7月～3月	動画研修	◎	◎	●
【J-LIS】 DXによる政策推進セミナー	4時間	自治体DXを実現するため、最新の情報化の動向を把握し、指針の策定及び企画立案、プロジェクト管理方法などについて習得します。	7月～3月	動画研修		◎	◎
【J-LIS】 BPR基礎セミナー	2時間	自治体DXを推進するにあたり必要な業務プロセスの見直しと再構築のため、業務の見直しの重要性を理解し、BPRの基本的な知識と考え方について修得します。	7月～3月	動画研修		◎	●
【J-LIS】 データ利活用入門	3～4時間	これからの地方公共団体の政策を検討する上で課題解決のために必要なデータ利活用の意義や必要性を知るとともに、保有しているデータを有効に活用し、行政サービスの向上や政策の立案に役立てるための知識を修得します。	7月～3月	動画研修		◎	◎
【J-LIS】 デジタル活用による社会課題解決推進セミナー	1～2時間	デジタル技術の活用により、地域の個性を活かしながら、地方の社会課題の解決、魅力向上を実現し、地方活性化を加速するために、国の動向や活用できる交付金についての知識を修得します。	10月～3月	動画研修		◎	◎
【総務省】 eラーニングによる情報連携に向けた研修 (基幹システム利用者向け)	5～6時間	情報連携に関する一般知識の習得並びにセキュリティ水準の維持向上等を目的として実施します。	7月～3月	e-ラーニング	●		
【総務省】 実践的サイバー防御演習(CYDER) (システム管理者向け)	2～3時間	組織がサイバー攻撃を受けた際のインシデント対応を学習する実践的サイバー防御演習です。	7月～8月	e-ラーニング	●	●	

【J-LIS】 「デジタルリテラシーコース(ITパスポート)」	30時間	ITを正しく理解し、情報システムを利用する地方公共団体職員として身につけておくべき、情報機器及びシステムの把握や、担当業務の遂行及びシステム化を推進するために必要なITに関する基礎知識について学習します。	8月～10月	e-ラーニング	●	●	●
【J-LIS】 「デジタルリテラシーコース(情報セキュリティ)」	2～3時間	基本的・実践的な情報セキュリティを学び意識を高めるとともに、地方公共団体の職員として知っておくべき、セキュリティ対策の意味と内容について学習します。	7月～10月	e-ラーニング	◎	◎	◎
【J-LIS】 「デジタルリテラシーコース(個人情報保護)」	2～3時間	個人情報を適切に取扱い、かつトラブルを未然に防ぐために、職員全員が知っておくべき個人情報保護法に関する基礎知識と、個人情報の取扱い方法や職場で行う具体的な対策について学習します。	7月～10月	e-ラーニング	◎	◎	◎
Govtech Express活用研修	1～2時間	公式LINEでメッセージの配信やイベント参加受付、オンライン手続きを始めるために必要な知識を学習します。	未定	対面研修	●	●	
Kintone活用研修	1～2時間	アプリの利用から基本の作成方法、各パーツの機能を学び、目的に応じたアプリ構築のスキルを習得します。	未定	対面研修	●	●	
【NTTDATA】 BPR研修	3～4時間	業務課題の解決をノーコードツール等を利用して図る実践型の研修です。	未定	対面研修		●	
北海道ミライづくりフォーラム2024への参加	2日	北海道の地域課題の解決や産業の活性化、DXの促進に向けたコンテンツの紹介やカンファレンス	10/1～10/2	その他		●	